

令和7年度

事業計画書(案)

社会福祉法人 ときわの杜
はまなす荘

基本理念

地域のセーフティネットとして社会福祉の向上に貢献するとともに、利用者の尊厳を守り、健康で幸福な日々の生活による人生の満足（ウェル・ビーイング）を実現します。

運営方針

我が国の障害者を取り巻く社会情勢は、2012年に「障害者虐待防止法」が施行され、2013年には「障害者自立支援法」を改正し「障害者総合支援法」が施行されました。これにより障害者の権利擁護が大幅に前進しています。

さらに、健常者との差別解消に向けて2016年に「障害者差別解消法」がされ、障害者の権利擁護を実現するための差別禁止要件を明文化しています。

また、国の意向をうけ、各自治体は「施設入所」から「地域生活への移行」を進めており新たに障害者の意思決定支援ガイドラインの普及や利用者の権利擁護の観点から地域連携会議などの開催も求められています。こうした傾向は、現在の社会の潮流であり時代の要請でもあることから入所関連の障害者支援施設の経営は厳しい状況となっています。

一方、新型コロナウイルスの影響で休止していた日帰旅行等の行事は、コロナ感染の5類への移行に伴い令和6年度から再開しており今後も入所者及び通所者の日常の楽しみと精神的な安らぎを提供してまいります。

施設の運営においては、すでに策定している第2期中期事業計画「はまなすビジョン2024」を継承し効率効果的なサービスの実現に向けて業務改革を推進します。

入所利用者については、令和6年12月に2名の利用者が死亡退所したことにより令和7年2月末で40名となっています。待機者のいない現状では、ニーズの把握が困難なため行政や各相談支援事業所など関係機関と連携強化を図るとともに潜在的ニーズの把握及び利用者の確保・拡大を重点項目として安定した施設運営の健全化に努めます。

基本方針

- 1 利用者の権利擁護と虐待防止の推進
- 2 健康で安心・安楽なサービスの推進
- 3 やりがいのある職（ディーセントワーク）の確保
- 4 地域参加と生きがいつくりの推進
- 5 安らぎのある快適な環境づくりの推進
- 6 効率効果的な施設経営と職員資質の向

■重点事業

1 利用者の権利擁護と虐待防止の推進

利用者の尊厳を守る上で、権利擁護と虐待防止は障害者福祉事業の最重要課題であると認識します。虐待防止が義務化されたので、実効的な防止体制を鋭意推進する一方、各事業において個人の権利と尊厳を守る様々な取り組みを効果的に展開します。

1) 権利擁護の推進

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	個人の尊厳の確保	プライバシーが保護された居室環境の実現とサービス運用	4月	個人の尊厳が保護され、安定した精神状態が得られる。
②	個人情報と肖像権の保護	個人情報管理マニュアルの策定、広報紙・ホームページのチェック	年度内	個人情報や肖像権が尊重されることで、利用者の権利擁護が推進される。
③	相談機会の増大による権利擁護の推進	「苦情相談」「利用者の声」により権利擁護相談を幅広く展開	年度内	利用者が気軽に相談できる相談機会が増え、権利擁護が推進される。
④	相談支援専門員の人材育成	相談支援専門員有資格者の確保	年度内1名	専門相談員を養成することで権利擁護相談の充実を目指す。

2) 虐待防止の推進

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	虐待防止体制の強化	虐待防止委員会の定期開催と検討内容の職員周知	年3回 5、9、1月	虐待防止体制の強化と職員意識の高揚が図られる。
②	日常的な虐待防止意識の高揚	チェックシート、アンケートを実施	チェックシート等/随時	虐待行為について全職員が共通認識できる。
③	虐待防止研修の推進	施設内研修(全体・個別)の常態化と外部研修の積極参加	個別1回/年 派遣2人/年	職員の虐待防止意識が醸成され、虐待事案の解消及び減少に寄与する。

2 健康で安心・安楽を追求するサービスの推進

健康で安心安楽な日常生活が送れるよう、利用者本位の保健・医療、生活支援サービスの充実を図ります。また、食の充実は利用者の楽しみの多くを占めることから、歳時記を反映した文化性の高い満足ある食の提供と研究を推進します。さらに、非常通報システムを活用した防犯訓練や防災・防火訓練を実施強

化することで利用者の安心安全を実現します。

1) 保健・医療体制の拡充

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	きめ細かな健康管理体制の拡充	健康カルテ、リハビリ・機器の活用、理学療法士の指導拡充	年内整備	利用者の健康管理と機能回復訓練を的確かつ計画的に拡充する。
②	健康食の推進	毎食のカロリー及び成分表示されたヘルシーメニューを開発提供	年度内	利用者の健康が改善される。健康に対する認識を喚起する。
③	医務と生活支援の一体的な連携強化	健康把握常態化システム構築と連携職員の配置	年度内完成	日常の状態変化から健康悪化を事前察知し、途切れないきめ細かな健康管理が推進される。
④	感染症対策（新型コロナ対策）の徹底	BCP 業務継続計画策定及び推進	年度内 発生率0% システム導入	的確な感染症対策により安全安心な施設生活と実効性ある業務対応が実現する。

2) 季節感を生かした食の提供

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	地産地消による新鮮な食材の提供	野菜等において地元産品を優先調達する。	年度内 60%達成	新鮮な食材の提供で、利用者の満足を得る。
②	満足感のある食の提供	新調理器具・食器の配備による調理の工夫。 温冷配膳車整備。	年度内	食の満足により、日常生活の楽しさが増し、利用者の精神安定に資する。
③	調理マニュアルの策定	調理の業務標準を作成する。	年度内	担当者が変わってもレベルの高い調理が提供できる。

3) 生活支援サービスの充実

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	四季の歳時記を生かした荘内外イベントの充実	通信カラオケ（エルダーシステム）の有効活用を図る。	3 イベント導入	映像と音楽を活かし、利用者のストレスフリーに寄与する。
②	介助サービスの充実	高機能電動ベッド、介護ロボット等の導入を促進する。	電動ベッド 2台	日常生活の困難が解消され安心安楽な生活を送ることができる。職員の負担軽減を図る。
③	ケアプランの充実	利用者個々の特性に合ったケアプランを充実させる。	年度内	きめ細かなケアが的確に実施され、利用者の生活向上につながる。

④	生活介護サービスの充実	レクリエーション主体の機能回復訓練をメニュー化する。	年度内 参加者述延人数 200名	重度高齢者の健康回復と機能保持が図られ、生きがいある日々の生活を実現する。
⑤	ショートステイサービスの強化	きめ細かな個別サービスで利用者の満足を得る。	年度内	地域の障害者福祉ニーズに応え、施設運営の健全化に資する。

4) 防災・防犯・防火体制の充実

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	安心安全な防災体制の拡充	大規模災害想定 of BCP 業務継続計画を基に効果的な訓練を行う。	年度内 1回	土砂災害の未然防止、大地震等の被災時に利用者の安心安全が確保される。
②	防犯体制の拡充強化	非常通報や防犯用品を使用しマニュアルに基づく自主訓練を行う。	8月 1回	非常通報システムの実効的運用を図ることで利用者の安全安心な生活が実現する。
③	防火計画の見直しと、夜間を想定した避難訓練の実施	計画の見直しを行い、効果的かつ安全な避難訓練を実施する。	年12回 (夜間1回)	防火体制の整備と避難行動の的確なトレーニングにより利用者の安心安全が高められる。

3 やりがいある職の確立

利用者の自立促進を進める上から、ディーセントワーク（やりがいある職）の確立は大変重要です。各自の特性に合ったケアプランにより就労指導し、職業技能の獲得を目指します。

また、私物クリーニング業務の拡充を目指し、法人内各施設から市内福祉施設への受注アプローチを進めながら工賃収入増を図ります。

1) 利用者の特性に合った職の訓練 指導計画の策定

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	ケアプランの策定と充実	利用者個々の特性に合ったケアプランを策定・充実させる。	年度内	利用者の就労に対する意識が高められ、自立が促進される。
②	作業マニュアルの策定	各作業のマニュアルを策定し、利用者表示に工夫を加える。	年度内	利用者に対する的確な指導ができる。利用者の作業理解と自発的活動にも寄与する。

2) やりがいある職の提供

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	広域受注促進事業（含障害	自治体・民間等から清	年度内	清掃や施設管理業務を受注し、

	者優先調達法適用)の推進	掃や管理等の通年型受注を得る。	1受注	安定した収益を得る。施設経営指標改善に寄与する。
②	高次技術習得による一般企業就労促進	企業連携で指導員と利用者リーダーの高次技術習得を進める。	年度内 指導者養成 1名	利用者の自立支援を推進し、人生の満足に貢献する。
③	快適な作業環境づくりの推進	サニタリー、キッチン等を活用した環境改善と新ユニフォーム導入	4月	利用者のやりがいある職が提供される。同福利厚生に寄与する。
④	送迎サービスの検討と実施	通所者の自宅送迎を行うことで利用者の利便性と定着に資する。	年度内 実施検討	利用者の利便性が向上することで、円滑な通所者確保に寄与する。

3) 作業内容の拡充

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	クリーニング事業改革の推進	私物クリーニング取扱の拡充と企業下請の推進。	年度内 売上5%増	就労系業務のイノベーションにより平均工賃が増額し、施設経営の健全化が図られる。
②	軽作業の充実	効率化を高める作業手順、治具開発、受注企業拡大等	年度内 売上210万円	平均工賃の増額が図られ、利用者の就労意欲増大と生きがいづくりが図られる。
③	農作業の拡充	果樹栽培の導入、加工製品製造、農福連携、テラス直売所実施	年度内 売上90万円 直売3回実施	生産種が増大し、計画的安定的な農業経営により作業増、工賃増が図られる。
④	味噌の新製品開発の推進	大豆栽培と連動した「杜の味噌プレミアム」の販売と流通拡大	5月 JA直売所取扱 200kg	生製品の拡大と高級化により施設のイメージアップが図られる。

4) 工賃の適正化と目標工賃の達成

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	工賃適正化事業の実施	工賃作業の適正な賃金体系を策定する。	4月	能力実績評価の適正化で就労のモチベーションが上がる。
②	施設運営を円滑にする施設独自の目標工賃額の達成	施設目標工賃額を設定し、様々な方策により達成に努める	年度内 31,000円	計画的な平均工賃額の増大により施設運営が円滑になる。

4 地域貢献と生きがいの推進

障害者福祉は地域福祉の重要な構成要因です。北茨城市をはじめ各自治体の地域福祉計画の動向に留意するとともに、地域福祉のセーフティネットとして貢献できる施設となり、利用者が満足した人生を送るためには、各種文化活動や生涯学習活動を通じて人格形成と生きがいの推進を支援する必要があります。

1) 積極的な地域貢献と地域交流

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	障害者地域生活拠点整備事業の積極展開	相談支援体制強化のための人材育成に努め、拠点開設に資する。	年度内 人材育成1名	利用者のための実効的なケアプランで、的確なサービスが実現する。
②	地域イベントへの積極参加	北特祭等、地域イベントへの積極参加	年内 3回	地域福祉、障害者福祉、施設をイメージアップし、施設の運営基盤を強化する。
③	多目的作業室・備蓄倉庫の福祉避難所対応	福祉避難所活用のための備蓄品及び機材調達を進める。	年度内	地域防災計画の一環として位置付けられ、地域福祉の推進に貢献する。
④	研修生、ボランティア、団体等との交流促進	インターンシップ(就労体験)、ボランティア交流等を実施する。	年度内 10人1団体	利用者のコミュニケーション機会増と地域の施設PRによる職員補充に資する。
⑤	地域貢献活動講師の派遣	公民館、小中学校等へ福祉講座等の講師として職員派遣をする。	年度内 5人	地域の社会福祉、障害者理解を深める。地域貢献する施設となる。

2) 事業可視化の推進

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	SNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)を活用した施設運営の充実	ホームページにフェイスブック等リンクで施設運営のPRに務める。	ホームページ 月1回更新 SNS導入	的確な情報公開と分かりやすい広報戦略により、施設運営の理解度が高まる。
②	統一的なイメージアップ(CI)戦略	統一ロゴや幟旗、ユニフォーム、看板、ラベルを設定する。	年度内 1種	施設が地域に認識されることで、地域におけるイメージアップが図られる。

3) 生きがいの推進

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	寺子屋の拡充	全利用者対象の「はまなす寺子屋」を定期開催する。	年度内 12回	「学び」と「感動」を通して人間性と教養を高め、利用者の自己実現に寄与する。

②	生涯学習評価の獲得	茨城県ナイスハート美術展ほかへ出品し上位入賞を目指す。	12月	活動が認知されることで利用者のやる気と生きがいが増大する。
③	クラブ活動の拡充	クラブ活動の充実と新規クラブ創設	年度内 1クラブ	利用者同士の円滑なコミュニケーションを通し、生活を明るく豊かにする。

5 安らぎある快適な環境づくりの推進

コロナ禍で中断していた施設内修繕を再開し、御下賜金拝受記念植樹周辺の整備などを拡充するなど施設環境の保全を図ります。

1) 施設の円滑な運用と的確な改修・修繕を推進する。

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	新施設の円滑な運用と効果的な改善	施設設備の運用研修と使い方に合わせた改善の実施	年度内	安定した生活と快適性の補完を進める。
②	備品の効果的な修繕及交換と補充	必要十分な範囲で実施する。	年度内	事業効率と生活環境が快適に改善され、利用者の日常生活が向上する。

2) アメニティ整備で快適な環境づくりを進める。

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	花いっぱい運動の実施	施設内外の樹木を定期管理しながらアメニティを充実させる。	4-10月	過ごしやすい住環境が整備され、施設のイメージアップにつながる。
②	鑑賞用魚類の整備	癒し効果のある魚類を補充管理する。	年度内	小さな生き物を飼い、その姿を眺めることで利用者の癒し効果が期待される。
③	記念樹保全と休憩所の整備	御下賜金拝受記念植樹先にブロック花壇を整備し野草園を作る。	年度内	環境整備により花見が快適となり利用者のストレス解消に資する。

3) 将来を志向した施設運営を推進する。

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	スーパーバイジング（管理指導）を加えた研究	施設運営に関し、専門機関・専門家の指導を受ける。	年度内	専門機関・専門家の指導で的確な施設運営が実現される。

②	中長期の社会動向を見定めた計画的な施設運営	第2期中期事業計画を継続延長する。	年度内	施設の現状と社会的動向に即した事業計画により施設運営の安定を推進する。
③	長期展望に立った施設業務の拡大	グループホーム・放課後児童クラブ等の開設を検討する。		利用者の様々なニーズに応えられ、施設運営の安定化と地域福祉に貢献する。

6 効率効果的な施設経営と職員資質の向上

諸物価高騰のため光熱費軽減が大きな課題となっている。人事管理面では、「業務目標管理システム」や「業務標準（業務マニュアル）」の導入、国家資格取得者の増員で職員資質の向上を図ります。さらに働きやすい職場環境を整備し、配置基準を上回る職員を常時確保します。

1) 効率的な施設運営

	事業名	方策	実施期限	期待される成果
①	省エネルギー対策の充実	節電節水対策を実施する。太陽光発電システムの導入計画策定。	年度内 Co ₂ 10%減	光熱費等の削減で効率的な施設運営が図られる。
②	経費削減対策	ネット購入、委託業者の見直し等でコストダウンを図る。	年度内 10%減	徹底した経費削減により適正な財務管理を実現する。

2) 人事管理と職員資質の向上

	事業名	方策	目標及期限	期待される成果
①	PDCAによる業務改善	正職員及び準職員対象に「業務目標管理システム」を実施する。	年度内	PDCAによる業務改善が図られ、職員資質が向上する。
②	国家資格取得者の増員による職員資質の向上	社会福祉士、管理栄養士、介護福祉士等の資格取得支援を行う。	年度内 1名	職員資質が向上し、利用者サービスが改善される。施設運営の向上に資する。
③	円滑安定した職員採用	ホームページの刷新と活用で職員の募集広報を強化する。	年度内	安定した利用者サービスが実現する。
④	時代に即した効果的な職員研修の推進	OJT(職場研修)OFF-JT(職場外研修)の実施。オンライン機器の整備	OJT 5回 OFF-JT 20回 年度内	職員資質が向上し、利用者サービスの推進が図られる。
⑤	コンプライアンス(法令順守)の徹底	施設内コンプライアンス委員会の設置及び業	年度内	施設内コンプライアンスを高め、不適切事例の発生を未然防

		務標準の策定。		止する。
⑥	職員の負担軽減と働きやすい環境整備	職員の健康保持及び高齢化に対応した業務支援機器の整備	年度内	業務負担が低減され、職員の定着化に寄与する。